

掲載日:2022年08月19日, 面名:対社,



依田勉三や晩成社に関する貴重な歴史資料が並ぶ会場

晩成社の足跡 史料で

市開拓140年 百年記念館が特別展

帯広百年記念館（市緑ヶ丘2）で特別企画展「晩成社展」が開かれている。十勝開拓の祖とされる依田勉三と晩成社の足跡を歴史資料を基に振り返っている。入場無料。9月19日まで。帯広市開拓140年・市

制施行90年記念事業の一環。晩成社に関する本格的な展示は初めてで、「140年前から現存している資料をぜひ見てほしい」と大和田努学芸員。

会場には勉三の日記や帽子、チヨッキなどの私物、写真のほか、晩成社の注文帳や社印などが並び、当時の函館での牛肉店経営、東京での「マルセイバタ」販売といった事業内容が垣間見える。来場した広尾町の山本直志さん（61）は「依田勉三が牧場を始めた大樹町生花出身なので特に関心がある。若い人にもぜひ見てほしい」と話していた。午前9時～午後5時。月曜日休。

同館では27日午後2時から、博物館講座「史料が語る晩成社の140年」を開き、大和田学芸員が講師を務める。事前申し込みが必要で先着50人。申し込みは同館（0155・24・5352）へ。（松村智裕）